

(4) 予測対象地域の設定

8号答申での予測対象地域の設定は、国勢調査結果等に基づき、大都市への通勤・通学5%以上依存圏等の条件により設定している。

大阪市の地下鉄は、大阪市周辺部のみでなく、都市圏の広範囲からのトリップによる利用も考えられることから、8号答申における予測対象地域を基本として、地域的なまとまりや平成の市町村大合併による圏域の拡大を考慮して、以下のような地域を予測対象地域とした。

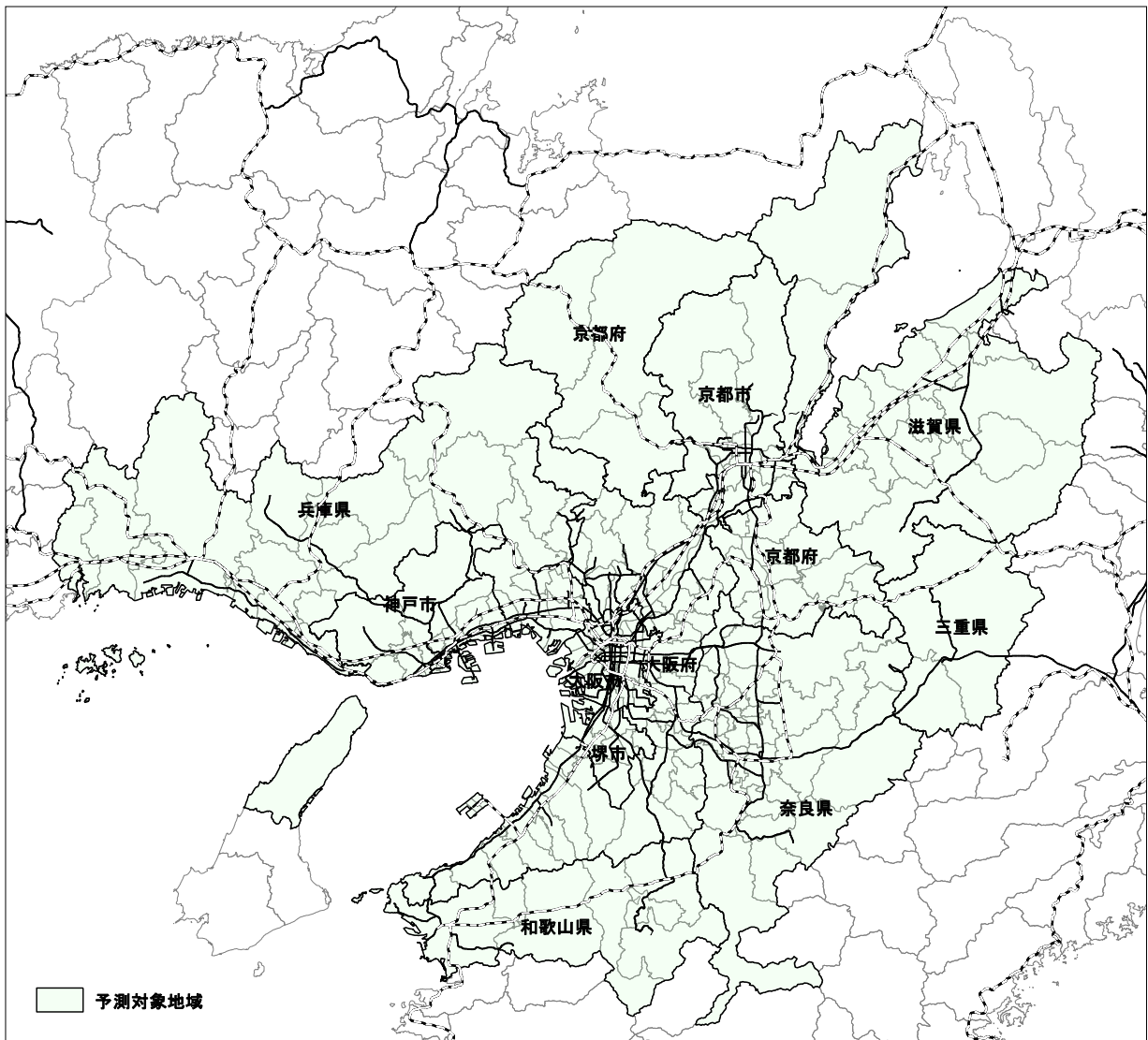


図 2-7 予測対象地域(近畿圏)

(5) 将来人口の設定

① 将来人口設定の基本的な考え方

将来の需要予測を行うに当たっては、沿線の将来人口設定が大きく影響する。特に、地下鉄利用は、通勤・通学の利用が多いことを考慮して、これらのトリップの状況が表現されるよう、就業・就学等の5つの指標を設定の対象とする。

その設定方法は、8号答申等の設定方法を参考として、以下のとおり考える。

表 2-1 将来人口設定の基本的な考え方

	人口の意味	設定方法
常住人口	いわゆる地域の「夜間人口」	国立社会保障・人口問題研究所による市区町村別の平成25年3月推計人口を用いる。
就業人口	当該地域における居住者のうち働いている人口。(居住地における就業者の人口集計。)	市区町村別・性別・年齢階層別に、就業率(就業人口/常住人口)を設定し、これが将来一定として設定する。
従業人口	当該地域において実際に働いている人口。(通勤地における就業者の人口集計。)	府県別には就従率(従業人口/就業人口)を設定して将来一定とし、市区町村別には現況比で分配されるものとして設定する。 (ただし、近畿計では就業人口=従業人口となるように府県別人口の段階で調整する。)
就学人口	当該地域における居住者のうち学校に通っている人口。(居住地における通学者の人口集計。)	市区町村別・性別・年齢階層別に、就学率(就学人口/常住人口)を設定し、これが将来一定として設定する。
従学人口	当該地域における学校に通学している人口。(通学地における通学者の人口集計。)	府県別には就学従学率(従学人口/就学人口)を設定して将来一定とし、市区町村別には現況比で分配されるものとして設定する。 (ただし、近畿計では就学人口=従学人口となるように府県別人口の段階で調整する。)

各人口指標の算定手順を以下の通り示す。なお、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口は、過去の人口移動の傾向を踏まえたものであり、従業・従学人口においても、現況比を基本としているため、新たな大規模開発による人口移動が考慮されないことから、大規模開発計画については、以上の人口設定を行った後に、別途設定を行う。

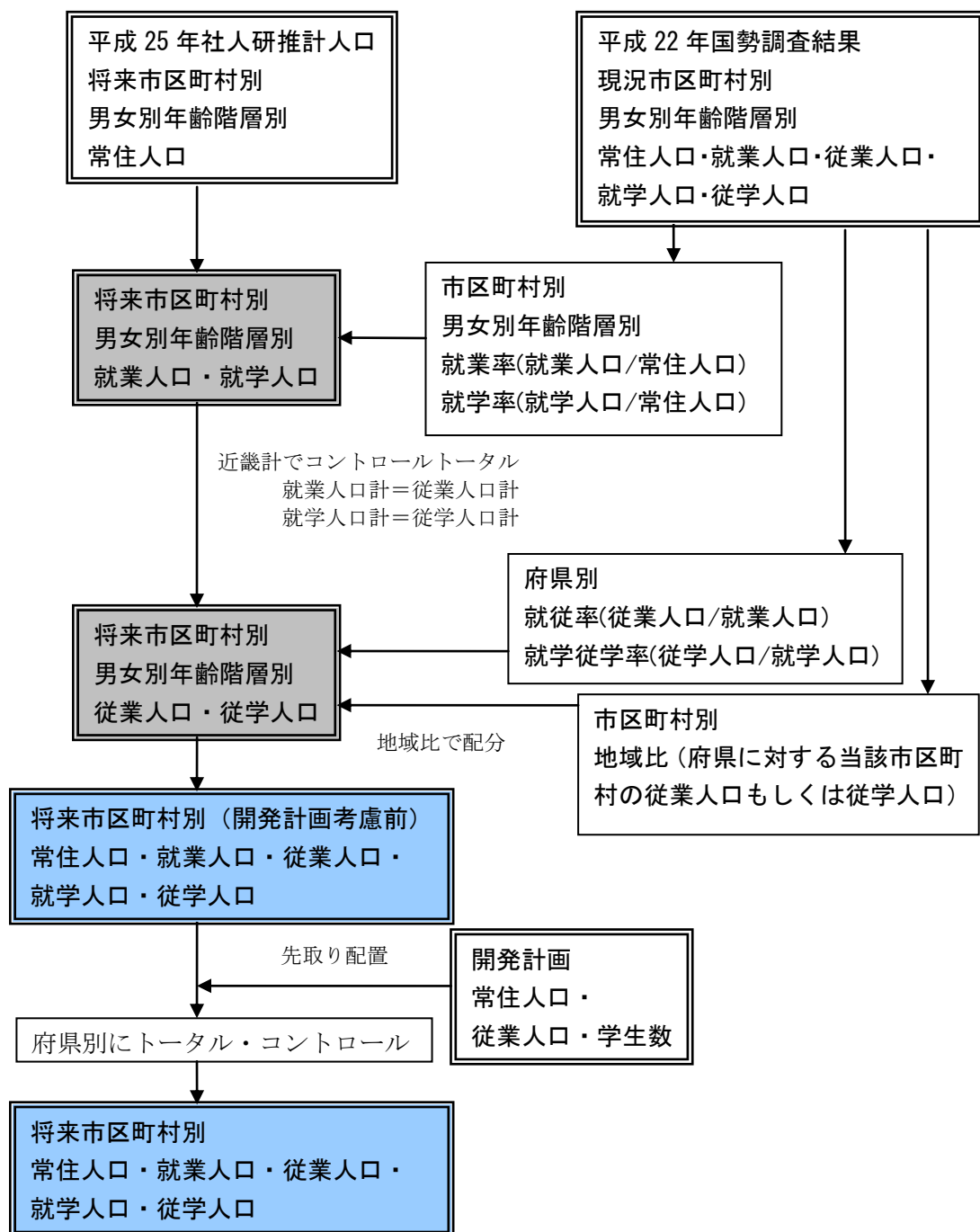
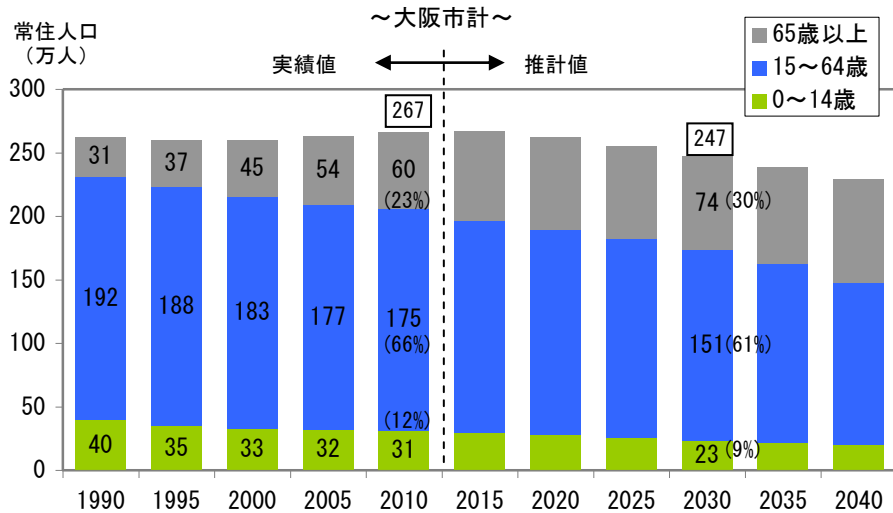


図 2-8 各人口指標の設定方法

② 常住人口の設定結果

常住人口は、国立社会保障・人口問題研究所による市区町村別の平成25年3月推計人口を用いる。大阪市および大阪府の推計結果を、以下のとおりにまとめる。

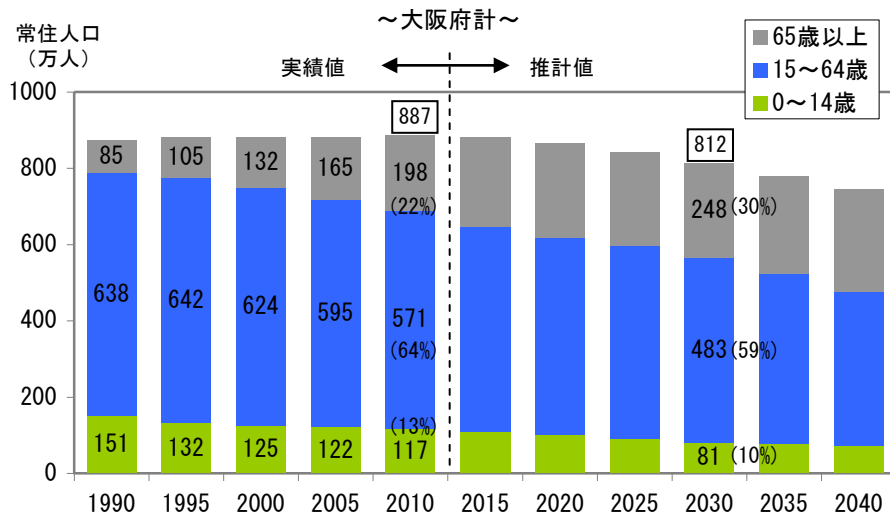
大阪市については、2010年で約267万人であるのが、2030年においては約247万人まで減少し、特に、生産年齢人口（15～64歳人口）が大きく減少する。



※年齢不詳は既知の分で案分した

図 2-9 大阪市の人口推移と人口推計結果(年齢3区分別)

大阪府においても、2010年の約887万人から2030年には約812万人まで減少が見込まれ、大阪市と同様に、生産年齢人口（15～64歳人口）が大きく減少し、高齢者（65歳以上人口）が増加する傾向にある。



※年齢不詳は既知の分で案分した

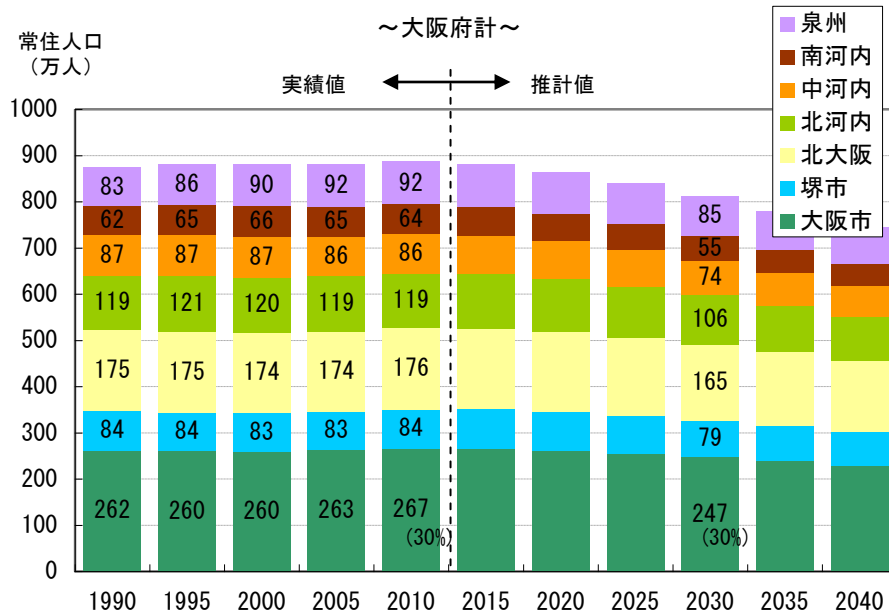
図 2-10 大阪府の人口推移と人口推計結果(年齢3区分別)

表 2-2 大阪市および大阪府の人口推移と人口推計結果

単位：人

	H2 1990	H7 1995	H12 2000	H17 2005	H22 2010	H27 2015	H32 2020	H37 2025	H42 2030	H47 2035	H52 2040
大阪市											
0～14歳	398,280	352,663	328,278	319,288	309,993	297,617	280,015	256,200	231,189	214,314	200,638
15～64歳	1,916,969	1,883,038	1,825,177	1,772,865	1,750,561	1,664,750	1,608,899	1,570,661	1,507,816	1,408,943	1,280,682
65歳以上	308,552	366,719	445,319	536,658	604,750	701,416	729,928	726,306	735,442	763,368	810,394
全年齢	2,623,801	2,602,420	2,598,774	2,628,811	2,665,304	2,663,783	2,618,842	2,553,167	2,474,447	2,386,625	2,291,714
大阪府											
0～14歳	1,510,818	1,323,879	1,252,192	1,219,296	1,172,275	1,092,667	999,368	904,634	814,988	759,617	720,610
15～64歳	6,376,788	6,423,608	6,235,323	5,952,806	5,708,105	5,370,309	5,182,727	5,048,325	4,827,481	4,482,612	4,048,359
65歳以上	846,910	1,049,781	1,317,566	1,645,064	1,984,834	2,345,307	2,466,805	2,457,080	2,475,921	2,551,698	2,684,556
全年齢	8,734,516	8,797,268	8,805,081	8,817,166	8,865,214	8,808,283	8,648,900	8,410,039	8,118,390	7,793,927	7,453,525

大阪府の人口の現状を地域別に見ると、大阪市の大阪府に占める人口の割合は、2010年および2030年ともに約30%であり、大阪府と大阪市とで、全体的な傾向としては大きな差は見込まれない。



※美原町は2005年以前も堺市に含む

図 2-11 大阪府の人口推移と人口推計結果(地域別)